

令和4年「菊川市10大ニュース」

順位	出来事	内容
1	安西叶翔投手、奈良間大己内野手がプロ野球ドラフト会議で日本ハムから指名【10月】	<p>2022年プロ野球ドラフト会議で、常葉大学附属菊川高校3年の安西叶翔投手が日本ハムから4位指名、菊川市出身・立正大学4年の奈良間大己内野手が日本ハムから5位指名を受けました。11月2日には菊川市役所を表敬訪問。長谷川市長と赤堀副市長からお祝いの花束を、松本教育長からは特産の深蒸し菊川茶が贈られた2人は、それぞれ力強く抱負を語りました。</p> 
2	菊川市プレミアム付商品券「スマイルチケット2022」を販売【10月】	<p>長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、低迷している地域経済の活性化および物価高騰への支援のため、プレミアム率100%の商品券「スマイルチケット2022」を販売しました。</p> 
3	常葉大菊川高校野球部が秋季東海大会で準優勝【10月】	<p>10月30日、秋季東海地区高校野球大会の決勝戦が草薙野球場で行われ、静岡県代表として出場した常葉大菊川高校は愛知県の東邦高校と対戦。決勝の舞台でも持ち味を生かし、果敢にプレーしました。結果は7-2で惜しくも敗れましたが、準優勝の成績を収め、来年春の選抜高校野球大会出場に向けて大きく前進しました。</p> 
4	台風15号により市内各地で多くの被害が発生【9月】	<p>9月23日に台風15号が静岡県に接近し、菊川市においても市内各地で多くの被害が発生しました。建物被害は準半壊1件、床上浸水4件、床下浸水93件。土砂崩れが120か所で発生し、道路は最大で市道25か所が通行止となりました。被災箇所の復旧には順次対応しています。また、菊川市から大雨により大規模な断水が発生した静岡市へ、協定に基づき9月25日から30日までの6日間、応急給水車1台・職員2名を派遣し、応急給水を実施しました。</p> 
5	菊川地域の広い範囲で断水および水圧低下が発生【5月】	<p>西方地内の水道管の破損により、5月20日から23日にかけて菊川地域の広い範囲で断水および水圧低下が発生しました。市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。断水および水圧低下の原因となった箇所周辺は、今年度中に更新工事を実施します。また、水道管の更新計画の見直しを前倒しし、今年度から着手します。</p> 

令和4年「菊川市10大ニュース」

順位	出来事	内容
6	茶産地・菊川の広大な茶畑を舞台に「茶畑の中心で愛を叫ぶ」初開催【10月】	<p>10月2日、菊川中央公園で家族やまちへの愛、自分の夢などを叫ぶイベント「茶畑の中心で愛を叫ぶ（菊川チャパチュー）」を初開催。高い青空と清々しい緑の茶畑に囲まれて、茶娘さんや菊川警察署員、ろうあ者と手話通訳者のグループ、菊川ご当地アイドル、子どもたちなどたくさんの方が、心の中にある感謝の気持ちや大好きな思いを大きな声で呼びました。参加者から来年の開催を期待する声も多く寄せられ、温かな空気に包まれ無事幕を閉じました。</p> 
7	上倉沢の千框棚田が国の『つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～』に選定【2月】	<p>農林水産省はこれまで、『日本の棚田百選』として、国内134地区の棚田を選定し、棚田の持つ多面的機能の維持・保全を図ってきました。令和元年度には棚田地域振興法が施行され棚田地域の振興に向けた取り組みが広がっていることから、2月14日にポスト棚田百選として『つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～』の選定が行われ、その一つに菊川市上倉沢の『千框棚田』が選ばれました。</p> 
8	ひと・まち・くらしの元気を応援「菊川産業祭2022」が3年ぶりに開催【11月】	<p>「菊川産業祭2022」が11月13日、文化会館アエルで3年ぶりに開催。多くの来場者と活気ある出展やステージで賑わいました。出展ブースにはおよそ60の企業や団体による販売や体験コーナーが並び、ミニ茶娘による「ちゃこちゃん音頭」や、地元チームによるよさこいなど14団体が、迫力あるステージを披露。また、市出身お笑い芸人の「スパイシーガリック」によるコントが上演されました。その他、ミニ四駆の体験コーナーや、鉄道模型の展示コーナーなどが設けられ多くの親子連れで賑わいました。</p> 
9	全国からバイク愛好家が菊川に集結「パニガーレMTG」開催【11月】	<p>イタリアのバイクメーカー「ドゥカティ社」のスポーツバイク「パニガーレ」のオーナーなどによる交流会「パニガーレMTG」が11月6日、文化会館アエル駐車場で開催されました。バイク愛好家が北海道や四国、九州など全国から自慢の愛車に乗って集まり、パニガーレおよそ170台のほか、およそ500台のバイクが会場に集まりました。これだけの数が一室に集まるのは、世界的にも珍しいそうです。</p> 
10	田んぼアート実行委員会が「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合奨励賞」を受賞【5月】	<p>田んぼアートを通して農業の魅力や地域の思いを未来に伝え、地域の活性化に寄与している点が評価され、田んぼアート実行委員会が「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合奨励賞」を受賞しました。5月15日、田んぼアート菊川2022お田植祭の開会式で、中遠農林事務所の佐藤欣久所長から表彰状と記念のトロフィーが、田んぼアート実行委員会の池田正会長と大橋晴治事務局長へ手渡されました。</p> 